

瑞穂市適応指導教室「アジサイスクール」通室までの流れについて

1 適応指導教室「アジサイスクール」の見学の流れ

(1) 教育委員会・教育支援センター、または学校に相談をする。

※学校と教育委員会、アジサイスクールが連絡を取り合い、見学日時等を決めます。

(2) その日に計画された日程に従った活動を公開し、活動内容等についての説明をします。

2 アジサイスクールへの体験通室の対象となる児童生徒

- 瑞穂市立小・中学校に在籍している。
- 7日以上欠席している不登校または不登校傾向にある児童生徒である。
- 児童生徒・保護者共に学校復帰を目的として通室を希望している。
- 学校の校長、市教育委員会が通室を承認した児童生徒である。

☆通室希望の児童生徒に対して、学校のケース会議等で本人の状態を職員間で共通理解し、通室が望ましいかどうか検討されます。

3 通室生になるまでの手続き

《体験通室について》

①保護者は、アジサイスクールの見学後、体験を希望する場合は、学校に相談します。

※学校と教育委員会が連携し、保護者との面談日が設定されます。

②アジサイスクールで面談を行います。

③面談後、通室を希望する時は、「体験通室申込書」を学校に提出します。

④2週間を目処に通室を体験します。

(体験通室中の欠席や遅刻は、保護者が教室に連絡します。連絡なしで欠席が2日以上続いたときは、体験通室を中止します。通室状況は学校に連絡します。)

※学校が、体験通室している児童生徒の様子を参観し、本人や保護者の学校復帰の意思を確認しながら、通室が望ましいかどうか検討されます。

※通室の判定は以下の内容です。

- 学校が、体験通室生の学校復帰に向けての計画を明確にしていること
- 体験通室生が真に学校復帰の意思をもっていること
- きまりを守って学校復帰に向けた努力がみられること
- 学校復帰に向けて、保護者の協力が得られること

《入室について》

⑤通室を希望する場合は、「適応指導教室通室申込書」を学校に提出します。

⑥通室が認められた場合、学校から「適応指導教室の通室方法等について」(様式第5号)と必要に応じて「特別自転車通室許可申請書」(様式第6号)が渡されるので、記入して学校に提出します。

⑦入室の会では、体験通室の様子や、学校・保護者・本人の思いを交流しながら、通室の目標等を確認します。

本人や保護者の願いをもとに、学校と連携して進めていきます。
どうぞ、よろしくお願いいたします。

